

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組11	個人(インフルエンサーやエンジェル)による創業支援のモデルケースの実現												
②対応する目標・課題	・大学・研究機関発ベンチャー企業における資金調達・人材確保・ネットワーク構築という課題に対し、持続可能な地域経済を実現させる創業育成モデル地区を創出する。													
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:TEPによる柏市内ベンチャー企業の支援数の増加	■目標値:20者(平成23年9月時点) ⇒ 70者(平成28年)												
④取組内容	<p>米国の地域における創業支援プログラムは、組織ではなく個人によるハンズオン型事業化支援を行うメンターの存在によるところが大きい。その中心には彼らに大きな影響を与えるインフルエンサーが存在している(オースティンのGeorgeKozmetsky、シリコンバレーのFred Termanなど)。シリコンバレーには、その後多くのメンターが生まれ、数多くの企業の創業支援をエンジェルとして密着して行っている。彼らは、資金的な支援だけでなく、経営に必要なノウハウを提供し、自身の持つ人的ネットワークを活用した営業活動を支援も行う。地域の創業支援プログラムには、このような個人のメンター活動が欠かせない。</p> <p>我が国では政府や自治体の創業支援プログラムは存在するが、地域に根差したインフルエンサーやエンジェルが存在せず、支援は全て企業や組織としての活動で、メンターとしての密着型支援プログラムとは程遠い。以上の理由から、つくばエクスプレス(TX)沿線では村井勝氏をインフルエンサーとし、創業支援の経験を持つ個人をエンジェル会員として纏め、TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)を平成21年11月に設立した(本拠地:柏の葉キャンパス)。</p> <p>TEPでは現在それぞれ個人が自分の得意分野のベンチャー企業支援を行っており、我が国の各種の先端技術が事業化され、いずれ国民に還元される日の来ることを夢見て、活動を進めている。このTEPをより大きく育て、そして日本でも初めてのこの取り組みを創業支援プログラムの代表例として日本全国に戦略的に広めることを目指す。特に、販路開拓やビジネスパートナーの獲得に繋がるネットワーキングについては、広報支援活動と、マッチングを行うソフトウェアの開発を強化策として想定している。TEPのこれまでの活動を通じて得た経験から、企業の発展に欠かせない広報活動は、ベンチャー企業にとっては人材不足や資金不足により、中々手が回らないことが多い。しかしこの支援を積極的に行うことで、企業や製品がメディアに掲載され、社会的な認知度の向上や顧客獲得に繋がることも多い。TEPではこの広報活動の支援を、TEPのロールモデル企業十数社を対象として先導的に行っており、既にメディア掲載実績が複数件あるが、今後これをさらに多くの企業に対して拡大していきたい。</p> <p>また、同じくネットワーキングの活動の1つとして、海外では多く活用されている、ベンチャー企業とエンジェル・ベンチャーキャピタルとの間のアクセスが、世界中ダイレクトに可能なソフトウェアの開発推進を行う。ベンチャー企業に対する支援や営業展開の場を、国内に限らず発想を転換して世界に求めることで、国内では長く見いだせなかった新たな展開を迎えることがある。世界的に見ても質の高い日本の大学・研究機関発ベンチャーのシーズに対し、世界中のエンジェルやベンチャーキャピタルは、このソフトウェアに登録しておくことでいつでもアクセス可能となり、事業状況を知ることができる。またベンチャー企業側も投資やメンタリングを受ける機会や回数を広げ、ネットワーク構築を強化することが可能となる。</p>													
⑤エリア	TEP柏の葉拠点、TEP秋葉原拠点、ほか													
⑥主体	TXアントレプレナーパートナーズ[TEP]													
⑦活用した国等の制度	創業支援事業計画(認定済み) (平成26年1月20日に施行された産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市区町村が創業支援事業者と連携して策定する「創業支援事業計画」が平成26年3月20日に認定されている。)													
⑧地域の関与	<ul style="list-style-type: none"> 産学官連携新規事業者等施設入居支援補助金 東大柏ベンチャープラザに入居して行う研究開発の成果に基づいて事業化を目指すベンチャー企業等に対し、家賃の一部を補助(平成16年度より措置/平成26年度予算額 3,857,000円) インキュベーション・マネージャー制度(平成16年4月より設置/1名) 民間からの人材を登用し、市内企業の産学連携等のアドバイスを行う。インキュベーション・マネージャーは、商工振興課に1名が常駐 東葛テクノプラザへの市職員の出向(平成10年4月より設置/1名) 													
⑨スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>21年度～</td> <td>TEP役員会/エンジェル例会/運営委員会/代表主催ランチの開催、およびエンジェル会員・サポート会員による個別支援(経営指導、ネットワーク構築、投資等)の実施。(毎月開催)TEPアドバイザリーボードの開催。(毎年度末開催)</td> </tr> <tr> <td>23年11月</td> <td>TEP設立2周年・TEP EXPOを東葛テクノプラザにて開催(ロールモデル企業の中間報告)。</td> </tr> <tr> <td>24年度以降</td> <td>広報支援活動の強化、マッチングソフトウェアの開発推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		21年度～	TEP役員会/エンジェル例会/運営委員会/代表主催ランチの開催、およびエンジェル会員・サポート会員による個別支援(経営指導、ネットワーク構築、投資等)の実施。(毎月開催)TEPアドバイザリーボードの開催。(毎年度末開催)	23年11月	TEP設立2周年・TEP EXPOを東葛テクノプラザにて開催(ロールモデル企業の中間報告)。	24年度以降	広報支援活動の強化、マッチングソフトウェアの開発推進						
21年度～	TEP役員会/エンジェル例会/運営委員会/代表主催ランチの開催、およびエンジェル会員・サポート会員による個別支援(経営指導、ネットワーク構築、投資等)の実施。(毎月開催)TEPアドバイザリーボードの開催。(毎年度末開催)													
23年11月	TEP設立2周年・TEP EXPOを東葛テクノプラザにて開催(ロールモデル企業の中間報告)。													
24年度以降	広報支援活動の強化、マッチングソフトウェアの開発推進													
⑩他の取組との連携	<p>取組名:大学・研究機関発ベンチャーを対象とした総合的支援 連携内容:必要に応じた、柏のベンチャー企業への投資に対する具体的な支援策を提案 取組名:アジアのベンチャーをネットワーク化する“Asian Entrepreneurship Award”の開催 連携内容:TEPのベンチャー企業やメンターと、アジアのベンチャー企業間における交流(AEADay2交流会への招待、AEAメンタリングセッションへの参加)</p> <p>取組名:地域の力で街を育てる地域力ポイント制度 連携内容:TEPの地域における活動への寄与に対するポイント付加の検討</p>													
⑪自立・自律の方針・目標	ベンチャー企業の育成について、日本ではまだまだ成熟していない民間の力による支援方法として定着させる。特に、エンジェル・メンターによるハンズオン支援(エンジェルがベンチャー企業の役員等となり直接経営に携わる)については国内事例も少ないため、海外の事例に学び、将来的には、成功した起業家がエンジェル・メンターとなっていく、新たな起業をしたり投資を行う創業育成の好循環を醸成させる。これが実現すれば、日本全国のベンチャー企業育成への適用モデルとなり、民間の力による自立的・自律的な好循環を生み出すことができる。													